

事業計画

事業名	まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業
団体名	まつど地域活躍塾つながりの会
事業担当課	政策推進課 市政総合研究室

事業概要
松戸市とまつど地域活躍塾つながりの会との連携・協働による市民社会での SDGs の一層の浸透・定着並びに行動意識を高めるため、「①SDGs 情報発信の拡大」、「②SDGs の地域学習の促進」、「③松戸版 SDGs アクション・プラン企画コンテスト実施」の3つの柱から活動を行う。

松戸市の課題	<p>2015年9月に国連が193カ国の合意の下に定めた「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」は、2030年までに国内外の貧困、平和、教育、医療・福祉、経済、人権、環境等の課題をテーマとした17の目標を分野横断的且つ包括的に捉え、多くの課題を同時に解決していくことが求められる。SDGsは世界の共通言語であり、国内外の現代社会の課題を読み解く重要な羅針盤である。行政や企業では、これまで政策や経営とSDGsとを結びつけながらSDGsの目標達成へ向けた取組みを進めてきた。</p> <p>このような状況の中で、当会としてはSDGsの17の目標を達成するためには、市民がSDGsに対する理解を深めることが不可欠であると考え、2019年4月から松戸市の市民社会の中でSDGsを普及啓発する活動を進めてきた。当会がこれまで実施してきた地域社会でのSDGs普及啓発の取組みから言える現状の課題を、下記のように捉えた。</p> <p>① 松戸市は、2022年5月20日に国の「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に選ばれた。しかし、松戸の市民社会を見る限りは、市民のSDGsに対する理解が依然として不足しており、SDGsに関する考え方が十分に浸透・定着しているとは言えない。</p> <p>② SDGsの視点を取入れた市民活動や地域社会での取組みは少ない。</p> <p>③ 松戸版SDGsの取組みやその情報が整理されていない。</p> <p>2022年8月に、松戸市は「松戸市SDGs未来都市計画(第一版)」を策定した。この中で、松戸市はジェンダー平等(目標5)、平和と公正(目標16)とパートナーシップ(目標17)を基本目標としながら、高齢化社会・健康への対応(目標3)や若い人たちを巻き込んだ地域活性化によるまちづくり(目標11)に取組む必要性を明記している。また、SDGsモデル事業として、「Z世代を起爆剤に多様な主体が奏でる常盤平団地エリアのリ・ブランディング」の取組みが検討されている。これらの目標を達成するためには、松戸市の経済、社会、環境の視点から同市を俯瞰的に捉えることのできるSDGsの視座を身につけることやその市民学習が重要である。当会としては、松戸市が位置づけている5、16、17や3、11の各目標を中核に据えたSDGs学習やその普及啓発を通じて市民社会でのSDGsに対する考え方をより深め、市民のSDGs行動へ促していくための機運を醸成していく活動が大切だと考える。</p>
事業の目的	<p>本事業では、行政とのパートナーシップにより、松戸市民のSDGsに対する理解を一層深める。そして、市が抱える地域づくりの課題をSDGsとのつながりで考え、その解決へ向けた市民の行動意識を高めていくことが大きな目的である。事業の具体的な目的としては、下記の通りである。</p> <p>① 松戸市に関わるSDGsの情報発信を通じて、日常生活とSDGsとのつながりを理解する市民を増やすこと。</p> <p>② SDGsの学習会を通じて、SDGsの視点から松戸のポテンシャル(魅力)や松戸市が抱える課題を自分事として考えてもらうようにすること。</p> <p>③ SDGsのアクション・プラン企画コンテストを通じ、松戸市における社会課題解決のための発想や創造力を高めていくこと。</p>
事業内容	<p>1. 事業内容</p> <p>松戸市民社会におけるSDGsへの理解を図り、SDGsの視点から松戸市の抱える少子高齢化や地域活性化等の諸課題解決へ向けた意識を高めるため、「①SDGs情報発信の拡大」、「②SDGsの地域学習の促進」、「③SDGs行動意識の向上」の3つの柱で進める。当会がこれまで呼びかけたSDGsネット</p>

ワーク参加団体(令和 3・4 年度の松戸市民活動助成で実施)とは事業に関する進捗確認の会合(3 回程)を開催、活動に対する助言も受けながら進める。

① SDGs 情報発信の拡大(2023 年 4 月～12 月)

松戸市では、SDGs の取組みが具体的にどのように行われているのか、特に、市民レベルでの情報を整理・発信しているサイトが少ない。当会が取組んできた SDGs ネットワーク参加団体の協力を得ながら、取組み事例を募集し松戸版 SDGs 活動事例集の作成を進める。そして、市のウェブサイトでの公開により、松戸市の市民社会における SDGs 活動の周知拡大を図る。

② SDGs の地域学習の促進(2023 年 4 月～2024 年 3 月)

市民社会の中で SDGs の浸透・定着をより確かなものとするためには、市民の SDGs の地域学習を促進していくことが重要である。現在開発中の松戸市民向けの SDGs 教材(冊子本)を活用し、市の施設等における SDGs の地域学習会(計 4 回<春・夏・秋・冬>)を実施する。地域学習会では、市も参加して市としての SDGs の取組みを市民へ発信することで、市と当会との両輪での SDGs 普及啓発の相乗効果を期待できる。SDGs の地域学習では、SDGs ネットワーク参加団体を外部講師として依頼する。

③ SDGs 行動意識の向上(2023 年 7 月～2024 年 2 月)

松戸市での地域課題の解決を図る SDGs 行動を促進するべく、「松戸版 SDGs アクション・プラン企画コンテスト(1 回)」を実施し、企画を募集する。2022 年 2 月 10 日に市が主催した「松戸市内の大学生による SDGs フォーラム」に参加した有志の学生と連携しながら、SDGs をテーマとした課題解決の行動へつなげるための能力向上を目指す。なお、SDGs アクション・プラン企画コンテストの上位入賞者には、景品を贈呈する。審査員には SDGs ネットワーク団体と専門家(有識者)を外部審査員として招く。

2. スケジュール

※サポセンとは、「まつど市民活動サポートセンター」のこと。

	①SDGs 情報発信の拡大	②SDGs の地域学習の促進	③SDGs 行動意識の向上	SDGs ネットワーク会合
2023 年 4 月	打合(市)事例の募集チラシ・フォーム作成	打合(市)第 1 回準備:講師検討、チラシ作成・配布、参加者募集		第 1 回開催 場所:サポセン
5 月				
6 月	事例の募集	第 1 回:サポセンで開催 対象:松戸市民 外部講師:SDGs ネットワーク団体	打合(市・関係者)募集要項検討	
7 月				
8 月				
9 月	事例とりまとめ・作成・確認	第 2 回:サポセンで開催 対象:松戸市民 外部講師:SDGs ネットワーク団体	チラシ作成	第 2 回開催 場所:サポセン
10 月				
11 月	松戸市のウェブサイトでの公開	第 3 回:サポセンで開催 対象:松戸市民 外部講師:SDGs ネットワーク団体	応募者・参加募集開始	
12 月				
2024 年 1 月		第 4 回:準備、講師検討、チラシ作成・配布、参加者募集	打合(市・関係者)、コンテスト開催準備	
2 月				
				コンテスト開催 開催場所:サポセン、審査員 5 名程(市役所、SDGs ネットワーク団体、つながりの会、専門家<有識者>)

	3月	第4回:サホセンで開催 対象:松戸市民 外部講師:SDGs ネット ワーク団体	第3回開催 場所:サホセン
事業の目標	<p>市と当会との連携・協働による市民社会でのSDGsの浸透・定着と行動意識を高めていくための今回の事業目標は、下記3つの活動の柱ごとに示す。</p> <p>① <u>SDGs 情報発信の拡大</u> 松戸の組織・団体のSDGsをテーマとした20活動(事例)以上が公開される。</p> <p>② <u>SDGs の地域学習の促進</u> SDGs の地域学習会(計4回)の実施により計80人(20人程/回)が参加し、身近な暮らしとSDGsとのつながりについて理解を深める(アンケート収集)。</p> <p>③ <u>SDGs 行動意識の向上</u> SDGs アクション・プラン企画コンテスト(1回)で、20件以上の応募がある。</p>		
協働の必要性(団体)	<p>当会では、2019年より松戸の市民社会におけるSDGsの認知度と理解度を図る学習活動を実施してきた。これまでの経験を活かした上でSDGsの浸透・定着を図るもう一步踏込んだ市民への普及啓発を進めたい。当会としては、市と協働して松戸市の「SDGs 未来都市」や「自治体SDGs モデル事業」の後押しをすることで、松戸市の市民社会の中で多様な人材が奏でるSDGs活動の輪を広げ、地域の活性化等につなげていけるよう貢献したい。</p> <p>市と協働することで、市のウェブサイトにおけるSDGs事例集の掲載により、松戸市の市民社会におけるSDGs行動の見える化につながり、SDGsの普及啓発の効果が一層高まることが期待できる。SDGsの地域学習や「松戸版SDGs アクション・プラン企画コンテスト」を市と連携することで、松戸市民へのSDGsの必要性と理解を深め、行動意識を高めることができる。</p>		
協働の必要性(市)	<p>本市が現在抱えている課題である「市民の中で草の根的な普及啓発活動の展開や情報収集」について、以下の点で協働の必要性がある。</p> <p>① 市民・団体とのネットワークを利活用した市民間のSDGsの推進 市内のSDGsを推進している市民・市民団体と「SDGs ネットワーク」を築いている団体との協働により、それを利活用した市内普及啓発にかかる情報収集や、本市のSDGs推進を積極的に行うステークホルダーと市民・団体等とのマッチングにより、市民間でのSDGs推進の機運を醸成できる。</p> <p>② 松戸市独自のSDGs啓発冊子を利活用した市民啓発の拡大 団体が開発を進める松戸市民向けのSDGs教材(冊子本)についてイベントや講演等での紹介・利用等により、松戸市の特性が反映されたSDGsの啓発、発信等が可能となる。</p> <p>③ 相互の相乗効果によるSDGs関連イベントの効果的な開催 市内4大学や包括協定等による連携関係にある民間企業等と団体が企画するSDGs アクション・プラン企画コンテストを連携させて開催することで、単独開催では実現できない相乗効果を図ることが可能となる。また、市が企画する事業についても、当会のネットワークを利用した周知により、より広く市民に周知され、市民や団体との連携も進めることができる。</p>		
事業実施の役割分担	<p>(松戸市市政総合研究室) 各実施内容への協力・助言、広報・情報発信、地域学習会の共同開催、学生との連携・協力構築支援 (まつど地域活躍塾つながりの会) 各実施内容の募集・チラシ作成、講師・応募者・参加者等との連絡・調整、事例集のとりまとめ・作成、地域学習会・コンテストの開催</p>		
今後の展望	<p>今回の協働事業は計3年間で進めることを考えている。2年目以降は、SDGsの活動事例集の募集拡大による情報発信の促進、SDGsを意識した地域での体験型学習会の開催や、アクション・プラン企画コンテストの継続に加え、SDGsの取組みを行いたいと考えている団体・組織等との活動マッチング会の開催や各地域でSDGsを牽引するSDGsリーダー人材育成のための研修会の取組み等を進めたい。協働事業終了後には、市が位置づけているSDGs目標の5、16、17や3、11を意識した市民活動等の取組みへつながっていくことを目指す。そして、当会としては、SDGsのリーダー、ネットワーク団体・関連機関との連携・協働により、市におけるSDGsの取組み状況を観ながら、SDGs実践講座や課題解決型のコンテストの開催等で参加費をとることや、活動に賛同して頂ける企業等とも協力して進めていきたい。</p>		

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 293,524	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 19,149	事業費の一部を団体の会計より拠出
	SDGsの地域学習会(参加費)	¥ 40,000	500円×20人×4回
	自己資金の合計額 (B)	¥ 59,149	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 319,041	
	合計額 (D) = (B+C)	¥ 378,190	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳	
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 90,000	SDGsの地域学習会(外部講師): 5,000円×2人×4回 SDGsアクション・プラン企画コンテスト審査員への謝金: 10,000円×5人	
	消耗品費	¥ 10,000	打合せ・学習会用の文房具(ペン、ポストイット等)一式 3,000円 SDGsアクション・プラン企画コンテストの賞状用紙: 2,000円 SDGsアクション・プラン企画コンテストの景品代 SDGs推進ノベルティグッズ一式5,000円	
	印刷製本費	¥ 195,000	松戸版SDGs活動事例集印刷 10円×50枚×150部 松戸版SDGs活動事例集募集用のチラシ: 4円×1,000枚 松戸市民向けSDGs教材の印刷 30円×25枚×100セット SDGsの地域学習(4回開催)のチラシ印刷: 4円×3,000枚 SDGsの地域学習の資料印刷: 10円×20枚×80人 SDGsアクション・プラン企画コンテストのチラシ印刷: 4円×2,000枚 SDGsアクション・プラン企画コンテストの資料印刷: 10円×10枚×50人	
	委託料	¥ 20,000	SDGsアクション・プラン企画コンテストのチラシデザイン: 20,000円	
	食糧費	¥ 1,950	SDGsの地域学習会(外部講師)飲料代: 150円×2人×4回 SDGsアクション・プラン企画コンテスト審査員への飲料代: 150円×5人	
	使用料及び賃借料	¥ 30,140	SDGsネットワーク団体等の関係者との打ち合わせ(まつど市民活動サポートセンター大会議室等) 660円/時間×2時間×3回 SDGsの地域学習(まつど市民活動サポートセンター大会議室等) 660円/時間×7時間×4回 SDGsアクション・プラン企画コンテスト(まつど市民活動サポートセンター多目的ホール) 1,100円/時間×7時間	
	通信運搬費	¥ 7,400	関係者への資料・チラシ等の郵送料: 370円(レターパック)×20回	
		対象経費の合計 (E)	¥ 354,490	
	（その他）経費	交通費	¥ 5,000	つながりの会会員(打合せ等): 500円×10回
		通信運搬費	¥ 3,700	つながりの会会員(資料・チラシ等): 370円(レターパック)×10回
チラシデザイン		¥ 15,000	松戸版SDGs活動事例応募チラシデザイン: 3,000円 SDGs地域学習チラシデザイン: 3,000円×4回	
その他経費の合計額 (F)		¥ 23,700		
	合計額 (G) = (E+F)	¥ 378,190		

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位:円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×953円
	①SDGs情報発信の拡大 打合せ	22,872 円	4 人 × 2 h × 3 回 × 953 円
	SDGs活動事例集の整理・編集・作成	38,120 円	2 人 × 2 h × 10 回 × 953 円
	②SDGsの地域学習の促進 打合せ	15,248 円	4 人 × 1 h × 4 回 × 953 円
	SDGsの地域学習会の準備	15,248 円	4 人 × 1 h × 4 回 × 953 円
	SDGsの地域学習会の実施	106,736 円	4 人 × 7 h × 4 回 × 953 円
	SDGsの地域学習会の事後処理	15,248 円	2 人 × 2 h × 4 回 × 953 円
	③SDGs行動意識の向上 打合せ	22,872 円	4 人 × 2 h × 3 回 × 953 円
	松戸版SDGsアクション・プラン企画コ ンテストの準備	22,872 円	4 人 × 3 h × 2 回 × 953 円
	松戸版SDGsアクション・プラン企画コ ンテストの実施	26,684 円	4 人 × 7 h × 1 回 × 953 円
	松戸版SDGsアクション・プラン企画コ ンテストの事後処理	7,624 円	2 人 × 2 h × 2 回 × 953 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
		人 × h × 回 × 円	
		人 × h × 回 × 円	
		人 × h × 回 × 円	
		人 × h × 回 × 円	
合 計 (A)	293,524 円		